

3年 出願・入試・発表の日の動きについて

令和3年1月13日(水)

1 出願について

(1) 郵送・ウェブ出願の場合

各自、受験する学校の募集要項をよく読み、どのような手順で手続きを進めるのかを確認すること。

【主な注意ポイント】

- 出願前の事前エントリーの必要の有無。
- 受験料の支払方法(クレジットカードか電子マネーか振り込みか)および支払期日
- 写真(データをアップロードする形か、台紙をプリントアウトして貼って郵送するのか)
- 出願受付期間(受付開始日および開始時刻)
- 受験票の発行方法(郵送されるのか、ウェブサイトからプリントアウトするのか)
- 登録サイトからダウンロードしてプリントアウトする必要のある書類の有無
- 調査書等の提出方法

調査書や推薦書については中学校から厳封された封筒のまま高校へ郵送することがほとんどだが、その場合、高校から提出方法を指定された場合を除き、必ず簡易書留郵便で送らなくてはならない。簡易書留で送る場合は必ず郵便局の窓口から申し込み、絶対にポストに入れてはいけない。	〔簡易書留郵便…その郵便物の配達状況が記録され、高校の担当者に必ず直接手渡しされる郵送方法。トラブルを未然に防ぐことにもつながる。〕

※受験番号がわかり次第、担任の先生にその番号を報告してください。

(2) 直接、高校へ持参する場合

【前日までの準備】

- あらかじめ、当日は直接高校へ行くのか、それとも一度中学校へ登校してから出かけるのかを担任の先生に伝えておくこと。
- 募集要項で、出願に必要な書類をもう一度確認する。願書や受験料、調査書のほか、高校によっては「併願優遇延納願い」などの書類が必要な場合もある。
- 高校への経路(交通機関や所要時間、運賃など)もあらかじめ、確認しておく。予定していた電車やバスが止まってしまった場合を想定し、できれば予備の経路も考えておくのが望ましい。
- 私立高校によっては、願書に中学校の「公印」が必要なところもあるので、そのような場合は、早めに中学校へ提出すること。
- 調査書は基本的には出願前日に担任の先生から手渡されるが、郵送する場合は事前に申し出る。

絶対に開封しないこと! もし、受けとった調査書を使わなかった場合は、開封せずに担任の先生に返却すること。

※「親展(しんけん)」…宛名になっている人が開封する。(宛名人の許可無く開封しない)

【当日の動き】

- 持ち物→願書などの出願書類、交通費(電話代金)、筆記用具、生徒手帳、腕時計、
印鑑(訂正印 願書に捺印したものと同じもの) ※携帯電話・スマートフォンは不可(出願・入試・発表とも)
- 髪型や服装などを整えてから出かけること。マフラーや手袋をしていてもよいが、出願をする際はコートを脱ぎ、マフラーや手袋も外すこと。
- 自転車は使用禁止。あらかじめ決めた交通機関を利用する。家から行く場合、時間に余裕をもって出かけるようにする。
- 他校の生徒と絶対にトラブルを起こさないこと。何かあったら、すぐ近くの大人に相談する。また、必ず中学校と保護者に電話連絡をすること。
- 友人の出願に付き合ったりしないこと。出願が終わったら寄り道をせず、まっすぐ学校に戻ること。
- 中学校へ戻ったら、3学年の先生(職員室)へ受験番号等の報告をする。高校から調査書受領書もらった場合は、先生に渡すこと。報告が終わったら教室へ戻り、授業を受ける。

※杉並区立向陽中学校 電話 03-3302-2989

2 入試当日の動きについて

【前日までにやっておくこと】

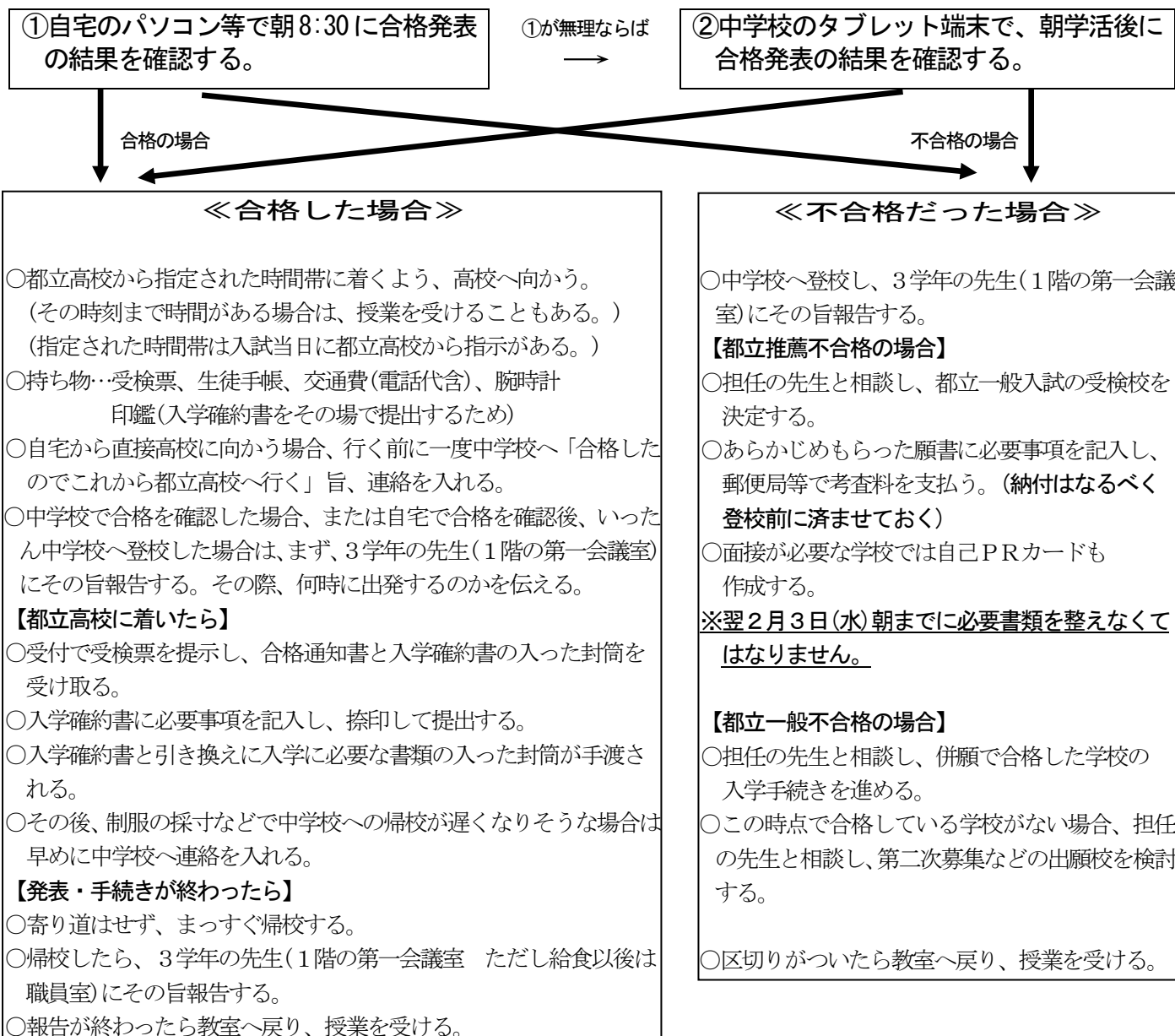
- 集合時刻や集合場所、当日の持ち物を確認する。(特に昼食の必要の有無)
- 交通経路や交通費、起床・出発時刻を確認する。特に朝の時間帯は交通機関も混雑しており、それだけ時間がかかることを念頭に早めに行動する。
- 前日は早めに寝て、当日は朝早く起きるようにする。入試が始まる3時間前に起きるのが望ましい。

【当日の動きについて】 ※時間に余裕をもって行動すること

- 電車が遅れたなど、何かトラブルや事故があったときには、必ず学校と保護者に電話連絡をすること。
(遅れそうになっても、向陽中から高校へ連絡すれば、受験可能になる場合もある。)
- 受験会場近くから入試は始まっているという緊張感をもつこと。(道案内の人などからも見られている。)
- 掲示物や配布書類などに目を通しておく。
- 気持ちを落ち着かせ、友人と騒いだり、大声で話したりすることのないようにする。
- トイレに行きたくなったり、気分が悪くなったりしたときは、挙手して係の先生に申し出る。
- 試験日程がすべて終わっても気を緩めないこと。帰り道でも見られているという意識をもつこと。
- 帰り道では寄り道せず、まっすぐ帰宅すること。(入試当日は中学校へは戻りません。)

3 発表・手続の日の流れ

(1) 都立高校の場合 ※あらかじめ、次の①、②のどちらの方法で確認するのかを担当の先生に伝えておくこと。



(2) 私立高校の場合

- 入試当日に発表される場合やインターネットによる発表など、学校によって発表形態が異なるので、確認しておく。
- 結果がわかったら、速やかに担任の先生へ報告する。
- 発表を見るために高校へ行く場合、あらかじめ何時に出かけるのかを担任の先生に伝えておく。
- 私立推薦入試の場合、合格後にクラス分けテストなどでその学校へ行くこともある。その場合、予定がわかり次第、担任の先生に伝えておくこと。

4 事前指導の日程について

月日	内容	対象生徒
1月14日(木)	私立推薦出願事前指導	私立推薦入試を受験し、 <u>かつ願書を直接持参する学校へ出願する</u> 生徒
1月21日(木)	私立推薦入試・発表事前指導	私立推薦入試を受験するすべての生徒
1月22日(金)	私立一般出願事前指導	私立一般入試(含併願優遇 以下同じ)を受験し、 <u>かつ願書を直接持参する学校へ出願する</u> 生徒
1月25日(月)	都立推薦入試事前指導	都立推薦入試を受検する生徒
2月1日(月)	都立推薦発表事前指導	都立推薦入試を受検した生徒
2月9日(火)	私立一般入試事前指導	2/10以降に私立一般入試を受験するすべての生徒
2月19日(金)	都立一般入試事前指導	都立一般入試を受検する生徒
3月1日(月)	都立一般発表事前指導	都立一般入試を受検した生徒

基本的には放課後、15:50～ 3階数学室にて行います。ただし、状況によっては昼休みに行うこともあります。

5 都立高校一般入試の志願変更について

都立高校の一般入試では、1回に限り、志願変更をすることができる。取り下げる高校、再提出する高校へはいずれも直接持参する形で行う。志願変更を希望する場合は早めに担任の先生まで申し出ること。そして、中学校から「志願変更願」をもらって記入し、それを一度、中学校へ提出する。

【取下げ】 2月12日(金) 9:00～15:00

- ①(取下げ当日の持ち物) 志願変更願、生徒手帳など本人確認ができる身分証明書、および交通費(含電話代)
(この時点で、受検票はまだ都立高校側にある状態)
- ②志願変更願と引き換えに、入学願書、受検票、厳封された調査書を受け取る。
- ③入学願書に志願変更先の学校名などを記入する。再提出先の高校が面接実施校の場合、自己PRカードも必要になる。

【再提出】 2月15日(月) 9:00～12:00

(再提出当日の持ち物) 入学願書、受検票、厳封された調査書、(面接実施校の場合)自己PRカード

【志願変更できる場合】

- ①全日制高校から、他の全日制高校(または同一校の他の学科・コース)への志願変更
 - ②昼夜間定時制単位制高校のうち、チャレンジスクール(世田谷泉、稔ヶ丘、桐ヶ丘、六本木、大江戸)、八王子拓真、一橋、浅草、荻窪、砂川の10校から、出願校以外の9校の昼夜間定時制単位制高校または他の全日制高校への志願変更
- (注) 逆は不可。全日制から昼夜間定時制単位制高校へ志願変更することはできない。

【志願変更できない場合】

- ①取り下げた高校の同一学科への再提出。および複数学科の志望順位の変更
- ②上記②以外の定時制高校からの志願変更

6 都立高校入試の新型コロナウイルス感染症対策について

【重要】平熱が37.0度以上の人は、中学校発行の「平熱が高いことの証明書」を入試当日、検温時に提出する必要があります。直接、進路指導主任に申し出ること。

(1) 感染が疑われる者への対応

- 高校登校時に受検者の体温をサーモグラフィにより測り、発熱が見られる場合は、別室等に案内し、改めて体温を測る。
- それでも発熱が見られる場合、37度以上37.5度未満の場合は、インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追検査の受検が促される(第一次募集の場合)。当日の受検を希望する場合は、別室受検となるが、その場で判断を迫られることになる。
- 37.5度以上の場合、受検は認められず、追検査の受検が促される。
- 発熱があり受検できない場合は、保護者とともに帰宅することになる。(高校側から保護者に連絡し、保護者に迎えに来てもらう。)入試当日、保護者に都立高校と連絡が取れるようにしておくこと。
- 濃厚接触者とされた場合は原則、受検することはできない。ただし、以下のア～エのすべての条件を満たす場合、別室受検が認められる。
 - ア 自治体によるPCR検査または抗原定量検査の結果、陰性であることが判明したこと。(一般のクリニック等での検査では受検要件を満たさない。検査結果が判明するまでの期間は受検できない。)
 - イ 受検当日も無症状であること。
 - ウ 電車、バス、タクシー等の公共交通機関を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて検査会場に行くこと。
 - エ 終日、別室で受検すること。なお、受検を希望する場合は、中学校へ「事故や病気等による学力検査等実施上の措置申請書」の作成を申し出る。
- インフルエンザ等学校感染症罹患患者に対する追検査の申請をしたが、追検査当日にインフルエンザ等に罹患した場合、追々検査の制度もある。

(2) 検査実施上の注意

- 受検者は、常にマスクを正しく着用するとともに、予備のマスクも持参する。フェイスシールドやマウスシールドの着用のみでは受検できない。
- 検査会場内の換気時に窓の開放等を行うため、寒くないように防寒着などを持参すること。
- その他、受検票とともに配布される「令和3年度入学者選抜における新型コロナウイルス感染症に関する対応について」をよく読んでおくこと。

7 その他

- 都立高校の受検票は中学校へ送付され、推薦入試では1月22日、一般入試では2月16日を目途に配布される予定です。
- 都立推薦入試に不合格後、一般入試を受けることになった場合、必要書類を整える時間がほとんどありません。そのため、1月15日(金)の都立一般入試の願書配布日に、都立推薦入試の受検予定の生徒にも念のために一般入試の願書を配布します。都立推薦入試が終わったら、万一のために早めに準備しておきましょう。

(進路が決まったら…)

無事に進路が決定しても、周囲にはまだ進路が決まっていない人もいます。その人たちのことも考えて、残りの学校生活をしっかりと過ごしましょう。